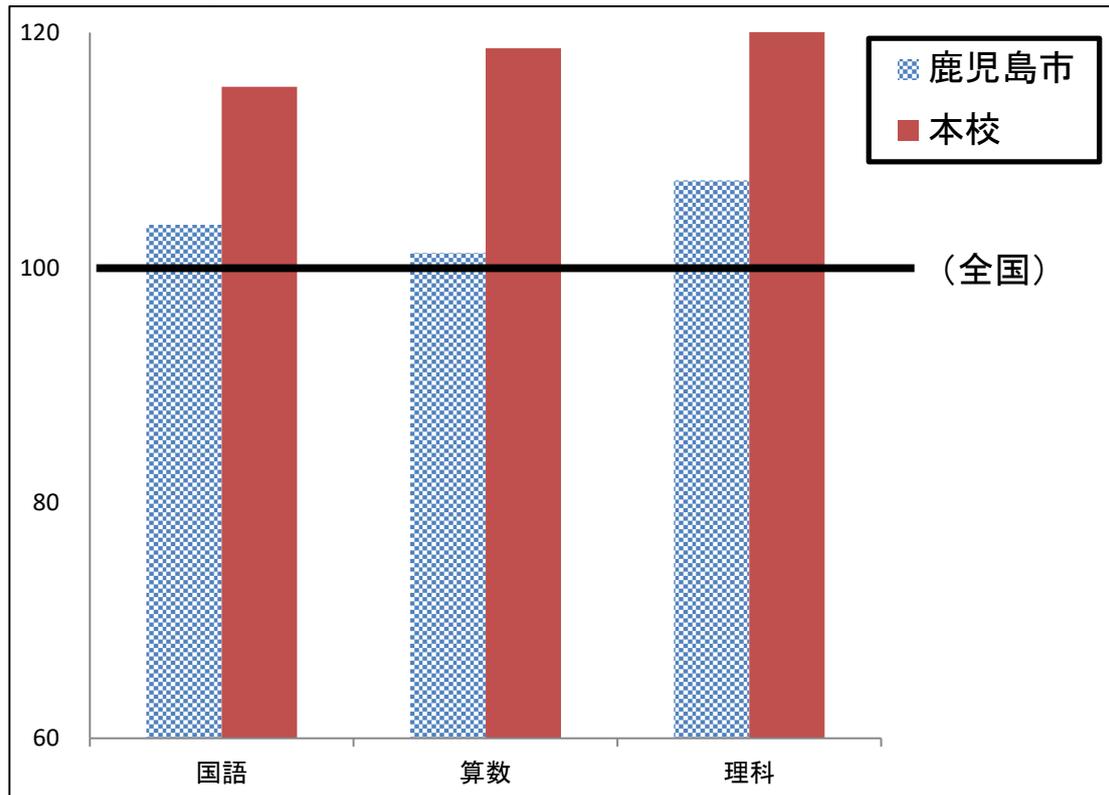


令和4年度全国学力・学習状況調査結果について 桜洲小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

人物像や物語の全体像を具体的に想像し、それを文章にすることと表現の効果を考えることに対して課題が見られました。物語の大きな読み取りを行い、自分なりにまとめる時間の確保や文章の表現の効果について話し合う時間を意図的に行い、経験をさせていきます。

〈算数・理科〉

算数においては、どの領域においても十分な結果が出ていました。理科においては、エネルギーの領域に課題が見られました。ただ、理科でも算数でも日常と学習が結び付いていない点があることが分かりました。普段の学習から、子どもたちの日常と結び付けながら、授業を行っていき、日々の疑問や興味を取り上げていきたいと思えます。

〈全体的に〉

今回の調査では、上記のグラフから分かるように、3教科とも満足のいく結果となっています。この結果が出た一因に、児童質問紙から「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」という子が多いことや「課題で分からないときが出たときに自分で調べる」という子が多かったことが分かりました。また、生活習慣や学習習慣が身に付いており、学校のきまりや友達との約束を守りながら、落ち着いた生活をしていることが分かりました。課題に向かう姿勢や日常の過ごし方が結果につながっていきます。これからも、さらに「子供を認める言葉掛け」を行い、自己肯定感を高めていきたいと思えますので、御家庭でも言葉掛けをよろしく願います。